

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成30年10月25日 (2018.10.25)

【公開番号】特開2017-72188(P2017-72188A)

【公開日】平成29年4月13日 (2017.4.13)

【年通号数】公開・登録公報2017-015

【出願番号】特願2015-199169(P2015-199169)

【国際特許分類】

F 1 6 C 29/04 (2006.01)

【F I】

F 1 6 C 29/04

【手続補正書】

【提出日】平成30年9月12日 (2018.9.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

この発明は、互いに対向する長手方向の壁面に断面 V 字形状の軌道溝がそれぞれ形成された相対移動する一対の軌道台、一対の前記軌道台の前記軌道溝にそれぞれ形成された互いに対向する軌道面間にそれぞれ配設され且つ前記軌道面を転動する複数の転動体であるローラ、及び前記軌道台の前記壁面間に配設されて前記ローラを所定間隔で交互に直交して支持する前記長手方向に延びた保持板を備えた保持器から成るクロスローラ有限直動案内ユニットにおいて、

前記保持板は、前記軌道台の前記壁面に対向して平行に延びる主面に形成され、前記ローラの軸心が前記長手方向に直交して前記主面に対して 45° 傾斜して挿入される複数の窓孔を有し、前記窓孔が前記ローラに対して幅方向が長円になる楕円形状に形成され、前記ローラが前記窓孔の軸方向に位置決め配設されて隣接する前記ローラ同士の転動が互いに干渉しないように前記窓孔の窓壁面には前記ローラを保持する抱持部がそれぞれ形成され、前記保持板に装填される前記ローラの本数を増大させるために予め決められた所定位置の隣接した前記窓孔が連通する連続部を備えた複数の連続窓孔に形成されていることを特徴とするクロスローラ有限直動案内ユニットに関する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

互いに対向する長手方向の壁面に断面 V 字形状の軌道溝がそれぞれ形成された相対移動する一対の軌道台、一対の前記軌道台の前記軌道溝にそれぞれ形成された互いに対向する軌道面間にそれぞれ配設され且つ前記軌道面を転動する複数の転動体であるローラ、及び前記軌道台の前記壁面間に配設されて前記ローラを所定間隔で交互に直交して支持する前記長手方向に延びた保持板を備えた保持器から成るクロスローラ有限直動案内ユニットにおいて、

前記保持板は、前記軌道台の前記壁面に対向して平行に延びる主面に形成され、前記ローラの軸心が前記長手方向に直交して前記主面に対して 45° 傾斜して挿入される複数の窓孔を有し、前記窓孔が前記ローラに対して幅方向が長円になる楕円形状に形成され、前

記ローラが前記窓孔の軸方向に位置決め配設されて隣接する前記ローラ同士の転動が互いに干渉しないように前記窓孔の窓壁面には前記ローラを保持する抱持部がそれぞれ形成され、前記保持板に装填される前記ローラの本数を増大させるために予め決められた所定位置の隣接した前記窓孔が連通する連続部を備えた複数の連続窓孔に形成されていることを特徴とするクロスローラ有限直動案内ユニット。